

取扱説明書

ZETA ピボットレバー CP

品番：Q5K-DFR-Y00-001,Q5K-DFR-Y00-002

工数：0.2h

この度は ZETA RACINGピボットレバー CPをお買い上げいただき、ありがとうございます。
取付けされる前に、必ず製品の状態をご確認いただき、下記の内容をよくご覧になり正しく作業を行ってください。

1.注意事項

- ・製品に対し、加工、改造を行わないで下さい。
- ・取り付けには専門の知識と技術が必要です。不用意に作業を行うと思わぬ事故や故障の原因となる場合があります。
- ・レバー本体の刻印の末尾に"M"のある製品と無い製品では、リブレースメントレバーアームの互換性がありません。
- ・既に車両に装着されている純正部品以外の製品、部品等によって本製品と干渉し、使用できない場合があります。
- ・取付け後に必ずハンドルを左右いっぱいまできり、干渉等の不具合がないか確認して下さい。干渉する場合、レバーの取り付け角度を変えるなどの微調整を行なって下さい。

2.取付け方法

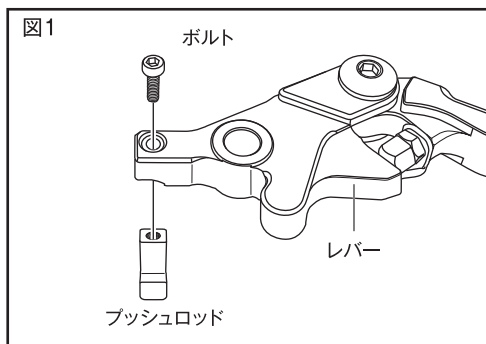
-クラッチ/ブレーキスイッチプッシュロッドの取付け方法

※一部の製品には、別体のクラッチ/ブレーキスイッチプッシュロッドが付属します。車両にレバー本体を取付ける前に、プッシュロッドの組み付けを行ってください。

付属のボルトを使用し、レバー本体にプッシュロッドを取付けます。(図1参照)

※プッシュロッドの取付け方向が違っていたり、斜めに取付けられた場合には、クラッチ/ブレーキスイッチが正常に機能しない、スイッチを破損させる等の原因となります。

※レバー本体を車両に装着した後は、必ずプッシュロッドとクラッチ/ブレーキスイッチの状態を確認してください。



-レバーの取付け方法

- 1) 車両から純正レバーを取外し、作動部を洗浄します。
- 2) 作動部に潤滑剤を塗布し、レバーを取付けます。

※純正レバーブーツカバーを使用する際には、カット等の加工が必要です。クラッチレバーの場合は、クラッチワイヤーの遊びを調整します。

- 3) ブレーキレバーの場合は、車両をスタンド等にて、前輪を浮かせた状態にし、ブレーキの引きずりがないかを確認します。

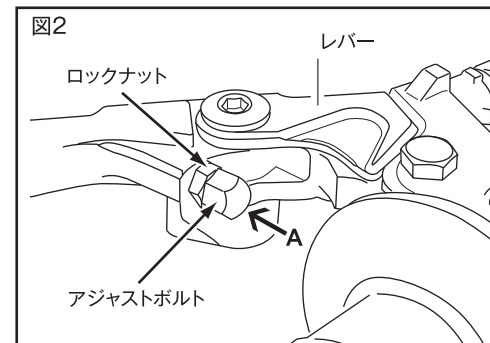
※ブレーキの引きずりがある場合は、本製品の使用を中止してください。

- 4) アジャストボルトを調整し、レバーとグリップまでの距離を固定します。(図2参照)

※A方向から見て時計方向に回すとレバーが近くなり、反時計回りに回すとレバーが遠くなります。調整後はロックナットを確実に締付けて下さい。

- 5) 走行する前に必ずボルトの緩み、センサー、クラッチの切れ具合などを確認します。

- 6) 定期的に作動部を分解し、洗浄・グリスアップをしてください。



3.レバーメンテナンス

- 1) A.レバーアームからB.アジャストボルトを取外します。

※スプリングが変形する恐れがありますので、必ず先にアジャストボルトを取外してください。

- 2) G.ナットを緩め、E.スプリング、F.スプリングカバーを取外します。

- 3) D.レバーマウントボルトを緩め、A.レバーアームを取外します。

- 4) 各部を洗浄し、必要箇所へグリスを塗布します。(図3参照)

※各部の傷み具合を確認し、ひどい場合は交換してください。

- 5) D.レバーマウントボルトを使用し、C.アームホルダーにA.レバーアームを取付けます。

※レバーマウントボルトのネジ山に、ネジロック剤を塗布します。

- 6) E.スプリングをC.アームホルダーとA.レバーアームの取付け穴に差し込みます。

- 7) E.スプリングにF.スプリングカバーをかぶせ、G.ナットで締め付けます。

- 8) A.レバーアームにB.アジャストボルトを取付けます。

